

## 創造的イルミネーション事業〈ヨルノヨ 2024〉の実施に係る 景観推進地区（関内地区：山下公園内）での景観形成について（審議）

### 【審議事項】 景観計画における屋外広告物の表示に関する制限のただし書き適用について

イベントエリアのうち、関内地区では景観法に基づく景観計画において、屋外広告物について制限（※1）しています。山下公園において投影時間を一日あたり一部規定を超える演出（※2）を行うため、「市長が横浜市都市美対策審議会に意見を聴いた上で、魅力ある都市景観の創造に特に寄与するもの」としてのただし書きの適用について、ご審議いただくものです。

#### （※1）【制限の内容】景観計画（抜粋）

第5 屋外広告物の表示及び屋外広告物を掲出する物件の設置に関する行為の制限に関する事項

##### 1 関内地区全域の制限

<投影広告物>

（1）投影広告は、表示することができない。ただし、催物等のために表示するもので、次のいずれかに該当し、魅力的な景観に寄与すると市長が認めた場合は、この限りでない。

ア 投影期間を原則として7日以内とし、投影開始日については、同一区域における前回の投影期間終了日の翌日から起算して、前回の投影期間の5倍の日数を空ける場合

イ 投影時間が原則として1日あたり10分以内である場合

（2）投影広告物の表示については、2の地区別の制限は適用しない。

#### （※2）【規定を超える演出内容】

イベント開催期間中、山下公園の芝生広場においてインタラクティブなプロジェクションマッピングを行います。投影時間はイベント期間中（連続26日間）の17:00-21:05 合計4時間5分となっています。

### 【審議事項に対する本市の見解】

今回ご審議いただく部分の他、創造的イルミネーション事業の取組みは、音楽ホールや美術館で体験するものではなく、体験したいと思う人だれもが参加可能な屋外の公共空間で行われるもので、先端的なデジタル技術を組み合わせて活用したイベントとなっています。時間限定の特別な演出により一時的に横浜の景観的な特徴や歴史的建造物を際立たせることで、改めて横浜の魅力に気づけたり、時間的、空間的なメリハリのある夜間景観を演出することで、魅力ある都市景観の創造に特に寄与するものと考えます。

### 1 イベント開催主旨

ヨルノヨは国内外の観光客を増やし街の賑わいを創出して、回遊の促進・滞在時間の延長を図ることを目的に開催します。横浜の夜景を光と音楽で演出し、都心臨海部のみなとみらい21地区から山下ふ頭に至る範囲で、インナーハーバーとしての一体感を照明の連続性と変化する光の動きにより演出し、リング上のつながりを際立たせ、港のスケール、横浜らしさを感じられるような夜間景観を創造します。

### 2 実施概要（参考資料 P4, 5）

〈名称〉夜にあらわれる光の横浜〈ヨルノヨ<sup>ユルノヨ</sup>2024〉

〈期間〉令和6年12月5日（木）～令和6年12月30日（月）17時～21時05分（26日間）

〈体制〉主催：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ実行委員会

共催：横浜市

連携：クリエイティブ・ライト・ヨコハマ推進協議会

〈構成〉（1）時間限定の演出（ハイライト・オブ・ヨコハマ）：42施設予定

（2）公園等の演出：山下公園（芝生広場）、大さん橋国際客船ターミナル屋上広場

（3）光と音のオブジェ：桜木町駅前広場、汽車道、新港中央広場、大さん橋屋上、山下公園

（4）地域のアーティスト・クリエイターによる「アートプログラム」

（参考）地域をつなぐ取組「夜の横浜イルミネーション2024-25」：新港中央広場、山下公園通り

（令和6年11月1日（金）～令和7年3月2日（日））

### 3 【演出テーマ】星降るみなと

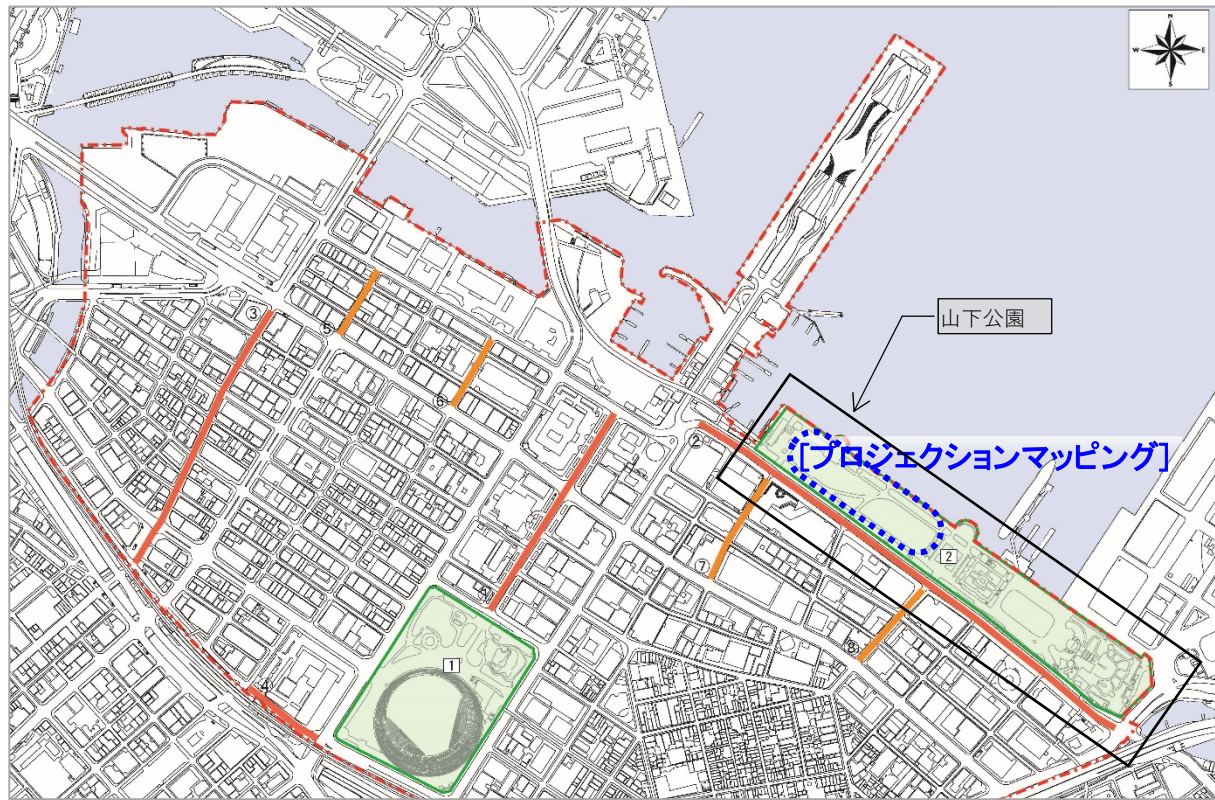
横浜の港から見える街の灯の輝きを星のきらめきに見立て、その連なりを星座に見立てたコンセプトとなっています。演出の一部に流れ星や星のまたたきなど、発見して人に教えたいような演出を取り入れたり、大さん橋や山下公園では、宇宙船のような光のオブジェやクジラと星空のマッピングなど、広大な範囲を統一したコンセプトのもとに演出します。冬の夜の横浜の新たな魅力を発見につなげ、魅力を体感してもらいイベントとします。

### 4 審議の内容

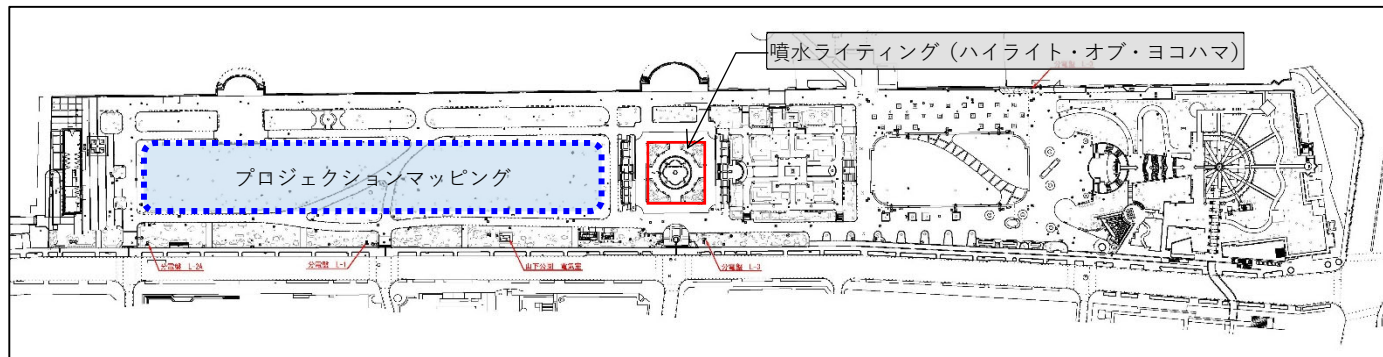
#### 対象施設等と行為の概要

都市美対策審議会において、景観等に係る事項について審議頂きたい内容は、投影広告物（プロジェクションマッピング）についてです。

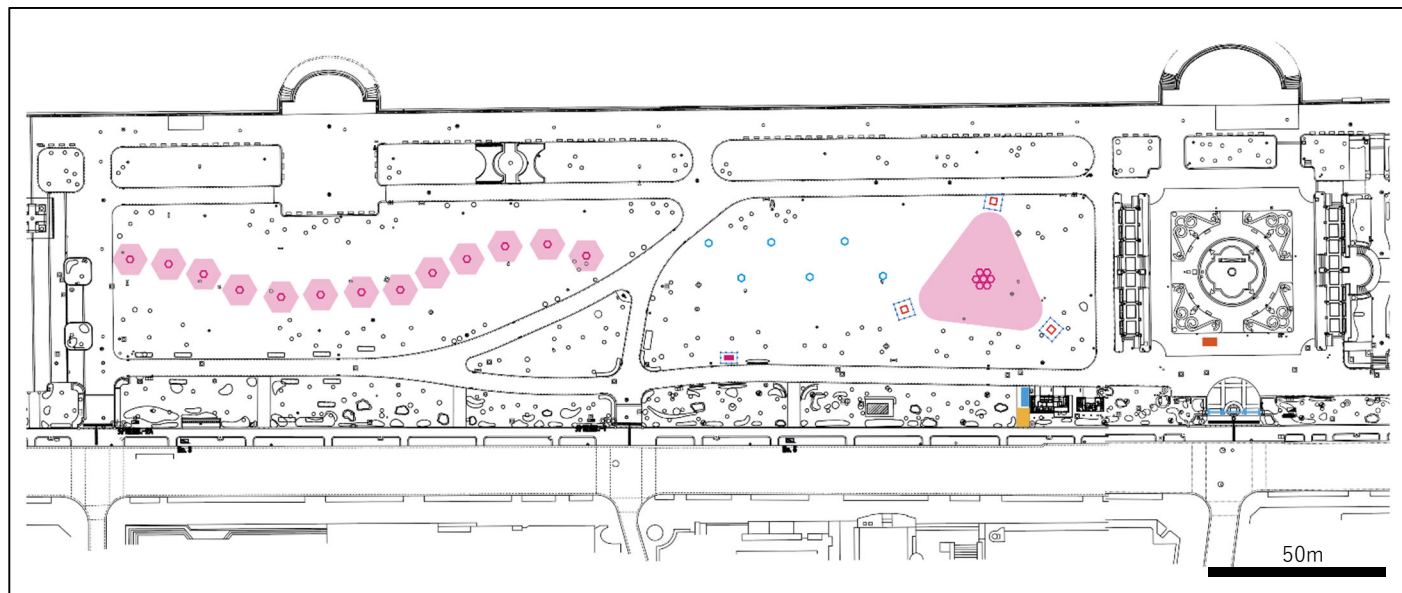
山下公園の芝生広場において空の星を地上に表現するものとして、星や木、宇宙船などを連想させる〈Star Tree〉（双角錐型の構造物）を設置します。〈Star Tree〉と芝生面から樹木に至る広場全体で、来場者の動きに反応する、大規模な光のインタラクティブ演出です。



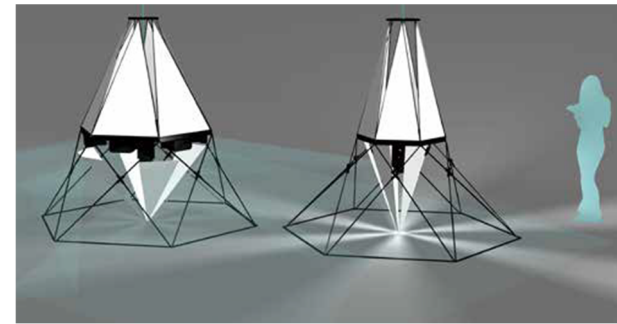
対象施設の配置（横浜市景観計画関内地区（景観重要公共施設のうち景観重要都市公園））



山下公園内配置図



設置物位置図



スターツリー姿図

|  |  |
|--|--|
|  | スターツリー = $\phi 3000 \times H2300$<br>投影範囲 = 約 $\phi 10m$ |
|  | イントレやぐら = $1800 \times D1800 \times H5700$               |
|  | スターツリー照明版 = $\phi 3000 \times H2300$                     |
|  | スターツリー = $\phi 5000 \times H3000$<br>投影範囲 = 約 $\phi 40m$ |

### 投影演出の内容

対象施設：山下公園（芝生広場）

投影映像：投影装置による映像・画像の投影

投影時間：17:00~21:05 合計4時間5分（連続26日間）

演出時間構成（ ）内分数

17:00~17:05 (5) [時間限定の演出] 17:05~17:30 (25) [通常演出]

17:30~17:35 (5) [時間限定の演出] 17:35~18:00 (25) [通常演出]

～以下、5分・25分の繰り返し～

21:00~21:05 (5) [時間限定の演出]

### 【演出イメージ】

[時間限定の演出]（5分間/30分毎）

芝生広場において周辺の照明と連動した映像装置を用いるプロジェクションマッピングを行います。プロジェクションの内容は、演出テーマに沿った映像を投影します。

[通常演出]（25分間）

センシングされた人の動きに呼応して、リアルタイムに生成される映像を投影するなど、参加型、ここでしか体験できない先端的な取組で都市の魅力を高める演出とします。



[通常演出イメージパース]

審議事項（資料2-2参照）

### **投影演出の意義**

山下公園は、関内地区と元町をつなぐ位置にあります。当イベントとしては、桜木町駅から、汽車道、象の鼻、大さん橋、臨港線プロムナードの都心臨海部の水際線沿いの回遊ルートの終点となる場所です。

投影広告物は、公園内の芝生広場（芝生面）でのプロジェクションマッピングで、来場者はだれでもマッピング内の園路を通行でき、プロジェクションの光の中に飛び込むような感覚を味わうことが可能で、特別演出では街全体で取り組む光と音の演出との一体感を体験できます。

こうした演出が、魅力ある夜間景観の創造に寄与するものと考えます。

### **投影演出上の配慮**

投影場所は、公園内の地面（芝生）に投影するもので、周辺を高木及び灌木で囲まれており、公園の外からは見えにくい場所にあるため、周辺道路を通行する車両からは見えず、交通安全上の影響はありません。

**P1 2 実施概要（参考）**

**(1) 時間限定の演出（ハイライト・オブ・ヨコハマ）〈Galaxy（銀河）〉**

都心臨海部の歴史的建造物や港のランドマークとなる施設、水際線等、街全体をキャンバスに、光と音楽で躍動する時間限定のショーを実施します。今年度は、改修が完了した横浜市開港記念会館や横浜美術館、クイーンズタワーなどを参加施設とし、横浜らしい景観を構成する建物を改めて感じられるようにするとともに、街なかに設置するオブジェや一部の施設に設置する縦方向に伸びるレーザー照明等によりスケール感を感じられるよう演出します。

【演出時間】30分ごとに5分間程度（17時開始、21時最終 計9回 45分）

【対象施設】42施設予定（R5：40施設）（資料2-3参照）

**(2) 公園等の演出：山下公園（芝生広場）、大さん橋国際客船ターミナル屋上広場**

ア 【山下公園】〈Star Tree -星の木-〉：[4 審議の内容]のとおり

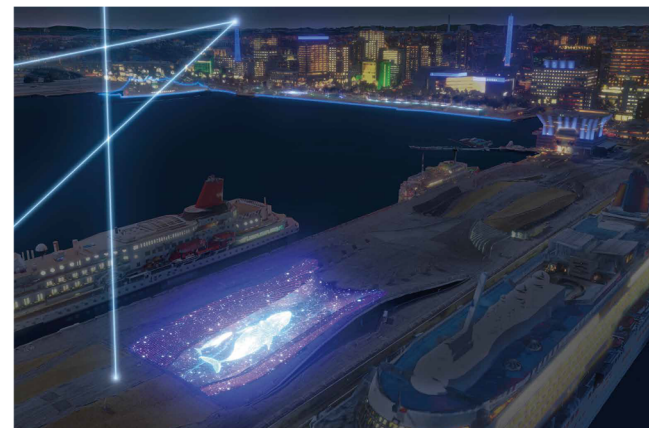
イ 【大さん橋国際客船ターミナル屋上広場】〈大さん橋くじら座〉

大さん橋国際客船ターミナルは、街全体が光と音楽で躍動するショー（時間限定の演出）を最も体感できるメインビューポイントであり、街を巡る周遊のポイントとなる重要な場所です。

ハイライト・オブ・ヨコハマとともに、屋上広場の起伏を活かし、来場者向けのダイナミックなプロジェクションマッピングを実施します。なお、プロジェクションマッピングは、屋外広告物に該当しない内容とします。



〈Star Tree -星の木-〉



〈大さん橋くじら座〉

いずれの場所も開催期間中、常に楽しめるプロジェクションマッピング等を行い、時間限定の演出時（ハイライト・オブ・ヨコハマ、17:00～21:05の間30分に1回、計9回45分/日）には、周辺施設と連動した演出を実施します。

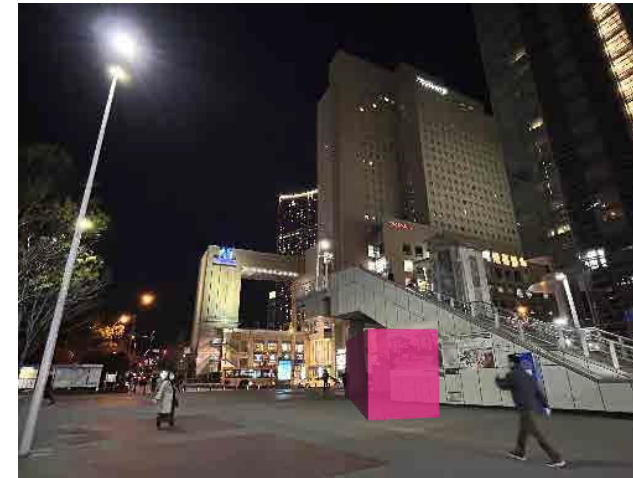
**(3) 光と音のオブジェ：桜木町駅前広場、汽車道、新港中央広場、大さん橋屋上、山下公園**

ヨルノヨの案内機能を備え、来街者の回遊性を促進するため、桜木町駅前広場、汽車道、新港中央広場、大さん橋屋上、山下公園の5つのポイントに光と音のオブジェを設置します。オブジェはコンテナタイプと三角タイプの2種類があり、桜木町駅前広場、汽車道に設置するコンテナタイプのオブジェではプロジェクションによる投影機能を備えた仕様とします。その他、スピーカーにより時間限定の演出時に音楽を聞けるようにするほか、ホワイトレーザー照明を設置し回遊ルートを示したり、時間限定の演出と連動した演出を行います。

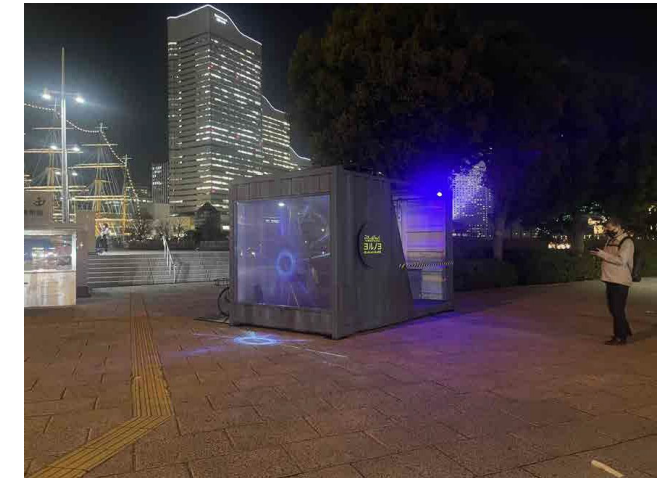
また、オブジェの設置のほかあわせて、デジタルスタンプラリーや商店街等とのイルミネーションの広報連携により更なる回遊性の向上を図り、横浜の夜の街を盛り上げます。

| 設置場所    | 地区       | タイプ                | 台数 | プロジェクション |
|---------|----------|--------------------|----|----------|
| 桜木町駅前広場 | みなとみらい中央 | コンテナ（屋根なし）、レーザーサーチ | 1  | あり       |
| 汽車道     | みなとみらい中央 | コンテナ（屋根なし）、レーザーサーチ | 1  | あり       |
| 新港中央広場  | みなとみらい新港 | 三角コンテナ             | 1  | なし       |
| 大さん橋屋上  | 関内       | コンテナ+フ・レーザーサーチオブジェ | 1  | なし       |
| 山下公園    | 関内       | コンテナ（屋根あり）         | 1  | なし       |

**□ コンテナタイプイメージ（設置事例）**



〔設置イメージ〕



〔ヨルノヨ 2023 で設置した事例（汽車道）〕



〔ヨルノヨ 2023 で設置した事例（ハンマーヘッド）〕



(4) 地域のアーティスト・クリエイターによる「アートプログラム」

横浜市芸術文化振興財団、象の鼻テラスと連携し、屋外での体験型アート作品の設置や、通りに面したビルの窓面やショーウィンドウ内への作品展示などを実施します。

期間：令和6年12月5日（木）～15日（日）（11日間）

時間：14:00～21:05 ※内容により期間、時間が異なります

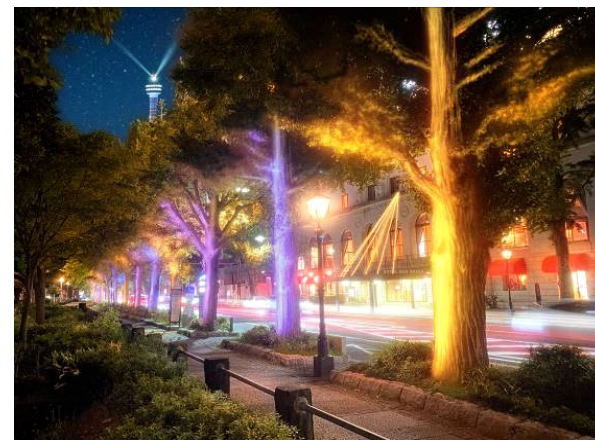
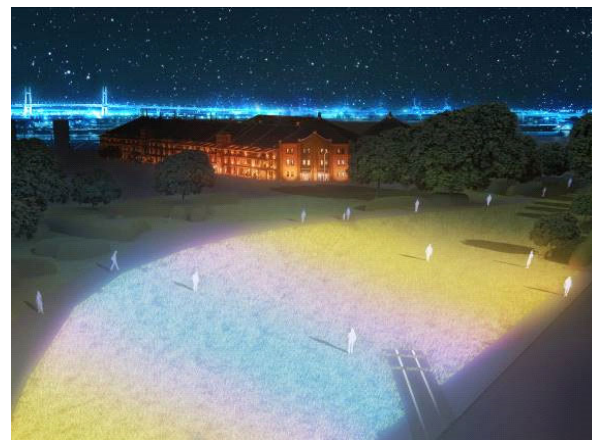
実施場所：水町通り・象の鼻パーク・象の鼻テラス



【アートプログラム（イメージ）】

(参考) 地域をつなぐ取組：新港中央広場、山下公園通り（11/1～3/2 予定）

新港中央広場の芝生面と山下公園通りのいちょう並木をライティングします。色や動きに変化を出すことにより、人の動きをつくります。



[新港中央広場のライティングイメージパース]

[山下公園通りのライティングイメージパース]